

2

野焼き支援ボランティア活動

- 実施主体 公益財団法人阿蘇グリーンストック
- 実施場所 阿蘇郡市内（8市町村）の各牧野
- 実施期間 令和2年1月中旬～令和2年5月上旬



<背景・ねらい>

阿蘇の草原は、千年以上前から野焼きが行われ、維持されてきた。原野を維持していくための野焼き作業には人員が必要であり、過疎化及び高齢化が進んでいる地域、地区においては厳しい状況である。そこで、そういった牧野組合や地区にボランティアが入り、火消し役として地元の作業の手伝いをする。阿蘇の草原の恵み（水源涵養機能、生物多様性、炭素固定機能、観光資源、草原環境学習、草原文化等）を次世代までつなげていくため、地元とボランティアと一緒に野焼きの作業を行っていく。

■実施概要

○野焼き支援ボランティア活動

- ・ボランティア支援を希望する牧野組合のとりまとめ。
（各市町村へ依頼）
- ・支援活動のスケジュール作成及びボランティアの募集。
- ・各牧野組合との調整及び各牧野へのボランティア割り振り。
- ・支援活動の準備・撤収。（機材、案内板等）
- ・安全確保のため参加者には「初心者研修会」の受講を義務付け。



野焼きの様子

■実施体制

- ・公益財団法人阿蘇グリーンストック
- ・野焼き支援ボランティア
- ・阿蘇地域8市町村

■成 果

○野焼き支援活動

- ・派遣ボランティア：1,000名（延べ）
- ・支援牧野組合：55牧野
- ・野焼き支援にあたっては、シーズン前にボランティアリーダー全体会議を開催し、円滑で安全な支援体制づくりを進めた。



ボランティアリーダー全体会議

■実施者の感想

- ・今年度の野焼きも天候不良が重なり、延期が相次いだ。延期が続くとボランティアの確保が難しくなり、派遣人員が不足する。そのため、牧野との追加的な調整や緊急の募集等を行い対応することとなった。
- ・今年度の野焼きでは初めて産山村（竹の畑牧野）から支援の要請があり、支援先が阿蘇地域8市町村へ拡大した。これはボランティア支援活動が評価された反面、地元の原野維持体制が弱体化していることも表しており、複雑なところである。